

高齢者と障害者の自立のための

第41回国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2014

会 期：2014（平成26）年10月1日（水）～3日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：585社・団体（日本530社・団体、海外55社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時 入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

【開催内容】（予定）

第41回目を迎える国際福祉機器展 H.C.R.2014 では、高齢者や障害者の自立と社会参加の促進、家庭や福祉施設での介護の質の向上を目的に、杖・車いす・福祉車両、入浴・トイレ、住宅改造機材などの福祉機器、高齢者むけ食品や衣類など日常生活を支えるさまざまな生活用品を総合展示します。

また、最新の福祉・介護・リハビリなど役に立つ情報を以下のような多彩なセミナーなどの企画・イベントをつうじて、福祉関係者、企業関係者、そして一般の方々に提供いたします。

①福祉機器約20,000点を総合展示 **WEBにて来場者登録の受付を開始しました！**

②国際シンポジウム **WEBにて参加申込の受付を開始しました！**

i) テーマ「ヨーロッパ諸国の認知症政策の現状を踏まえ、課題に挑む

～認知症への理解拡大と日本の支援活動の充実のために」

近年、高齢社会対策にかかわる重要施策について国家戦略を策定し、国民的な課題として社会全体で課題を共有しながら取り組みをすすめる動きが活発になっています。とりわけ、認知症についてはヨーロッパ各国で国家戦略が策定されており、また、2013年12月には英国で「G8認知症サミット」が開催されるなど、世界的な共通課題となっています。

一方で、わが国においても、2013年から2017年までの「認知症施策5か年計画（オレンジプラン）」が策定されるなど、取り組みの加速化が図られています。

そこで、H.C.R.2014 国際シンポジウムでは、英国から専門の講師を招き、EU各国のなかから認知症施策への先進的な取り組み経験を有する数国を選定して、当該の国々の特徴、現状や課題などを解説いただくとともに、日本の取り組みや課題と比較・対象をしながら学ぶことによって、わが国の認知症施策と支援活動の充実に資することをめざします。【日英同時通訳付】

ii) 日 時：平成26年10月2日（木）13：00～16：00（予定）

iii) 会 場：東京ビッグサイト会議棟6F

iv) 参加者：高齢社会の課題や政策・制度に関心のある方であれば、どなたでも参加いただけます。

v) 参加申込：H.C.R.web サイト（<http://www.hcr.or.jp>）からお申込みください。

vi) 登壇者

a. 講 師：

【ヨーロッパ諸国の状況報告】

ジョージ・W・リースン 氏 / オックスフォード大学高齢者研究所副所長、同大学ケロッグカレッジ
上級研究員、コペンハーゲン大学客員講師

【日本の状況報告】

服部 安子 氏 / 社会福祉法人 浴風会 浴風会ケアスクール校長

b. チューター:

近藤 純五郎 氏 / 一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、弁護士、元厚生労働事務次官

③H.C.R.セミナー **WEBにて参加申込の受付を開始しました!**

福祉職から一般、福祉利用者、家族までをそれぞれ対象として、保健・福祉・介護をテーマに連日開催。

i) 一般、福祉サービス利用者・家族むけセミナー

a. はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

3日間、基本動作編、自立支援編、住宅改修編から10テーマを設定して講義を実施。

b. 高齢者むけの手軽な日々の食事

c. 介護で腰痛にならないための基本技術を学ぶ

d. 高齢者の住まいについて～基礎知識と選び方

ii) 福祉職・介護職むけセミナー

a. 福祉施設の実践事例発表～役立つ活かせる工夫とアイデア

b. 福祉施設での感染症の知識と対応～知っておきたい感染症対策のポイント

c. 社会福祉施設等を元気にする生物資源の活用

～高齢者の生活の質の向上から野生動物の皮革の利用まで

④出展社によるプレゼンテーション

⑤H.C.R.特別企画

(1) 障害児のための「子ども広場」:

子ども用福祉機器の展示、機器の利用や療育に関する相談、発達障害のある子どものための住宅改造事例の紹介、子ども用車いすのトレーニングコーナー、保育士が常駐するひとやすみコーナーなどを実施。

(2) ふくしの相談コーナー

福祉機器や自具などの相談コーナーを設置。

(3) 高齢者・障害者の生活支援用品コーナー

旅を楽しむ「10のコツ!」と便利なグッズ展』を開催。関連グッズを展示・紹介。

(4) 福祉機器開発最前線

現在開発中の製品や新発表の福祉機器のデモンストレーション・集中展示。

(5) IT機器の福祉的活用講座

携帯電話やスマートフォンなど身近な機器の福祉的な利用方法についての解説・実演。

(6) 被災地応援コーナー

東日本大震災で被災した東北地方のセルブ（障害者授産施設）製品を販売。

その他にも、多彩なプログラムを実施予定。

◆各プログラムへのご参加について

参加料等の条件や参加受付はH.C.R. Web サイト(www.hcr.or.jp)で順次ご案内いたします。

※注: 内容や日程は予告なく変更する可能性がありますので、ご来場の際は最新情報をご確認ください。

H.C.R. 2014 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798

<http://www.hcr.or.jp>